

図書館だより

枚方市立図書館通信第 56 号

枚方市立図書館のホームページでもご案内しています

平成 23 年 8 月 枚方市立中央図書館発行

〒573-1159 枚方市車塚 2-1-1 (バス停「片鉾・中央図書館」前)

TEL 050-7105-8141 FAX 072-851-0962

中央図書館は毎週金曜・第 4 火曜休館

各分館は毎週月曜・第 3 木曜休館

図書館で本を借りてエコライフ!

節電の夏。みなさんはどのような節電の取り組みをしていますか? なかにはテレビを消して読書を楽しむ。朝の涼しい時間に外に出て木陰で読書、という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな時は、ぜひ図書館で借りた本を読んでみてはいかがでしょうか。

1冊の本をみんなで大切に読む。これも一つのエコにつながると思いませんか?

中央図書館 4階一般書フロアでは、「エコライフコーナー」を設置し、さまざまなエコライフを提案した本を集め、展示しています。貸出もできますのでぜひ一度お立ち寄りください。

図書館の仕事紹介シリーズ その 40

インターネットでは調べきれないこと

ヘッセの「ナルチスとゴルトムント」は、いろいろな邦題で訳されているそう。読みくらべをしたいので邦題をできるだけ多く知りたい、という問合せがありました。

『新潮 世界文学小事典』によると、その作品は「知と愛 (ナルツィスとゴルトムント)」（1930 年）と紹介されていました。google と yahoo を詳しく調べても、他に「友情の歴史」「聖母の泉」の 2 つしか見つけることができませんでした。『翻訳小説全情報 (各年版)』（日外アソシエーツ）を見ても、他の新しいタイトルはありませんでした。古い作品なので『明治・大正・昭和 翻訳文学目録』（風間書房）を調べると、すでにわかっている 4 つの題の他に「死と愛」「友情の物語」という書名でも訳されていることがわかり、インターネットと参考図書をあわせて、合計 6 つの邦題がわかりました。

市史資料室ふちやま話

14 ケーブルテレビ

古文書などの専門的な資料は、ただ集めているだけではその価値がわかりません。そこで、資料を調査・研究することも市史資料室の重要な仕事となります。もちろん研究レベルは高いに越したことはありませんが、そうであればあるほど、成果は一般には伝わりにくいものです。ですから、市史資料室の研究最前線を市民の皆様にはわかりやすくお伝えすることも、重要な仕事となってきます。

ここ数年、文化財課と市史資料室は、楠葉台場の調査に共同で取り組み、今年 2 月に国史跡の指定を受けたところです。この新たな史跡を紹介すべく、先日ケーブルテレビの収録に参加してきました。

収録当日は、気温が 34 度を超えるなか、1 日かけてリポーターのたつをさんとともに楠葉の町並と楠葉台場を巡りました。時間を追うごとに肌の色が真っ赤になっていくのも見所かもしれません。お見逃しなく。

ケイ・キャットチャンネル

枚方市提供番組「ここが知りたい枚方市」

8 月 1 日～8 月 28 日まで特集「京街道と楠葉台場跡」

毎日 9:30～・20:30～ (土曜・日曜は午前のみ)

市史資料室の開室時間

月～金 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分



各図書館と分室の8月イベント情報

○読書会

- 香里ヶ丘(図) 中高生読書会
東野 圭吾／著 『探偵倶楽部』
➤ 8月20日(土) 午後3時 2階ホール

- 枚方公園分室 成人読書会
石田 衣良／著『チッチと子』
➤ 8月26日(金) 午前10時半

○乳幼児向けおはなし会

- 中央(図) 8月10, 24日(水)
「0歳のおはなしひろば」午前10時半
「1歳からのおはなしひろば」午前11時10分
- 楠葉(図)「はじめてのえほん」8月3日(水)
0歳：午前10時半 1歳から：午前11時
- 牧野(図)「親子で楽しむおはなし会」
➤ 8月17日(水) 午前11時
- さだ(図)「おはなしいっぱいおはなし会」
➤ 8月17日(水) 午前11時
- 香里ヶ丘(図)「絵本のひろば」
➤ 8月31日(水) 午前11時

○工作など

- 氷室分室「くるくる風車をつくろう！」
➤ 8月18日(木) 午前10時半～午後4時半
- 宮之阪分室「ふしぎなまんげきょう」
➤ 8月18日(木) 午後2時～4時半
- 東香里分室「マジックカード」
➤ 8月18(木) 午後1時～4時
- 香里園分室「くるくるイルカショー」
➤ 8月20日(土) 午後1時～4時
- 茄子作分室「さそりのひょうほんをつくろう」
➤ 8月24日(水) 午後1時～4時半
- 釈尊寺分室「しおふきクジラ」
➤ 8月25, 26日(木, 金) 午後1時～4時半
- 村野分室「カタカタ鳥を作って遊ぼう」
➤ 8月26日(金) 午後1時～(材料がなくなるまで)
- 藤阪分室「たのしい理科工作」
➤ 8月27日(土) 午後1時～午後4時

○その他

- 香里園分室「手話の会」
➤ 8月26日(金) 午前10時半～正午
(全てのイベントは掲載していません。詳細は各館室まで。)



8月のふれあいルーム(午前10時～午後0時半)

- 中央(図) ばおばお 1, 8, 22, 29日(月)
 - 香里ヶ丘(図) ハートネット 5, 19日(金)
さくらんぼ 11, 25日(木)
 - 菅原(図) ぴよんぴよんうさぎ 7, 14, 21, 28日(日)
 - さだ(図) ひよっこ 4, 25日(木)・19日(金)
 - 御殿山(図) とこ・とこ 5, 19日(金)
おひさま 12, 26日(金)
 - 牧野(図) わくわくパング 5, 12, 19, 26日(金)
 - 津田(図) きゅーびーちゃん 3, 17, 24, 31日(水)
 - 楠葉生涯学習市民センター(午前9時半～正午)
あかちゃんたんぽぽのおへや 9, 23日(火)
- 【問い合わせ】子育て支援室 TEL841- 1221(代)

ちょっと紹介

『ピーティ』 ベン・マイケルセン/作

千葉茂樹/訳 すずき出版 2010.5

1920年代のアメリカ。主人公のピーティは脳性まひによる身体障害を持って生まれた。奇妙にねじれた体、表情のない顔、大きくゆがんだくちびる。母親は希望を捨てずに我が子を慈しむが、経済的な窮地に立たされ、二歳になったピーティを手放す決断をする。

当時、脳性まひ者は感じたり考えたりする力がないとされ、豊かな内面を秘めていたとしても、精神病患者の収容施設に押し込められることが多かった。ピーティもそのひとりだったが、ピーティときちんと向きあった人は誰でも彼のことが好きになった。自分の理解者との別れを幾度となく経験しながらも、ピーティは絶望や欲や嫉妬にとらわれず、自分の人生をありのままに受け入れて静かに生きる。

コミュニケーションの問題や障害者の歴史など、重いテーマを扱っているが、人間の心の深い部分にある希望を清清しく描きだしていて、読後は救われたような気持ちになる。実在の人物をモデルにしたフィクション。児童文学として扱われる作品だが、大人の方にも手にとって欲しい。